

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 328. 2009. 5. 31.

# 500人も入れない 認可保育園をつくって!

## 署名が始まりました

### 「この子のためにもお願いします」と署名に行列!



年	申込数	入園数	入れなかった子
2007	1,338	979	359名
2008	1,515	1,095	420名
<b>2009</b>	<b>1,589</b>	<b>1,101</b>	<b>488名</b>



いいぬまニュース326号  
 でお知らせしましたが保育園不足は深刻です。新婦人品川支部が「認可保育園の増設を求める請願」署名をはじめました。6月の区議会に提出します。

「子育ても仕事もしつかりしたい」保護者の皆さんの願いをかなえるために、どうぞ署名にご協力を。(署名用紙は事務所にあります)

5月16日(土) 武蔵小山商店街入口で、横断幕を広げ署名を始めると、若いカップル、ベビーカーを押しながらの家族、妊婦さん、お孫さんのいらっしゃる女性などが次々に寄ってきて「どうかお願いします」と言葉を添えて署名をされました。改めて、多くの方々の願いである事を実感し、「子ども達が元気に育つ認可保育園をたくさん求めていこう」と決意を固めました。

## なぜ認可保育園不足

政府が、保育園への税金投入を減らし続けてきたため、自治体は負担を減らすために、民間企業に依存。

石原都知事は、「民間でできることは民間で」と、保育をもうけの対象にする民間企業の経営する「認証保育所」を中心にする方向に進んでいます。

民間企業の経営する認証保育所では、職員の水増し請求などの不正や、儲かなければ突然の閉園など事故が続いているため、安心して預けられないの声が上がっています。

国と自治体が責任を持つ認可保育園を求める父母の願いは当然です。

税金の無駄をなくせば、子どもの健やかな成長を保障する認可保育園の増設は可能です。

下図を見てください。政府は更に保育費用を減らすとともに、国と自治体の「保育実施の責任」を放棄する「保育制度改悪」を考えています。未来ある子どものために税金を大幅に増やすよう働きかけましょう。

## 政府の提案する保育制度改革とは？

利用者が保育所と「直接契約」を結ぶ新制度を実施しようとしています。保育所をさがすのは利用者の自己責任、保育所を増やすのは民間企業任せでは、安心して子育てが出来ません。共産党は保育制度改革に反対します。

